

プロフィール

- ・名前 遠藤 なつ美
- ・所属部署 東京農工大学獣医臨床繁殖学研究室
- ・職種 テニユアトラック助教
- ・この研究室に入った日 2013年10月
- ・出身 静岡県 ・趣味 DIY



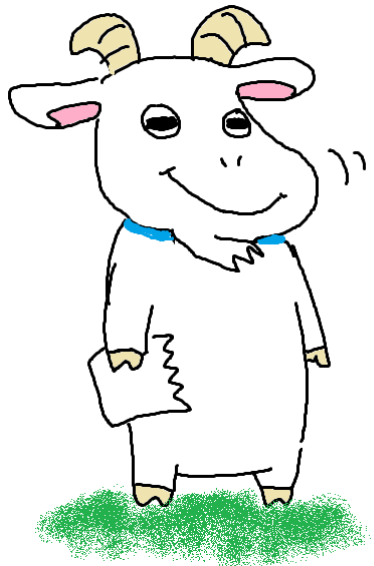
インタビュー

Q1. この分野に入ったきっかけは？

大学卒業後、長野で産業動物獣医師として働いている中で、乳牛の繁殖障害、特に泌乳牛での受胎率の低下を何とかしたいと思い、大学院の門を叩きました。

Q2. 現在、どのような研究をしていますか？

酪農現場で問題となっている乳牛の発情・排卵障害に対して、ストレスや栄養状態との関連を明らかにすると共に、加速度センサーを利用した発情発見補助装置の活用や、ニューロキニン3レセプター作動薬によるGnRH/LH分泌促進効果を利用した新しい治療法の開発に研究室として取り組んでいます。



Q2. 目指していることは？

最終的には、酪農家や獣医師など畜産現場の方々の仕事の役に立つ知識や技術を提供したいです。



Q3. 実験はどんなかんじですか？

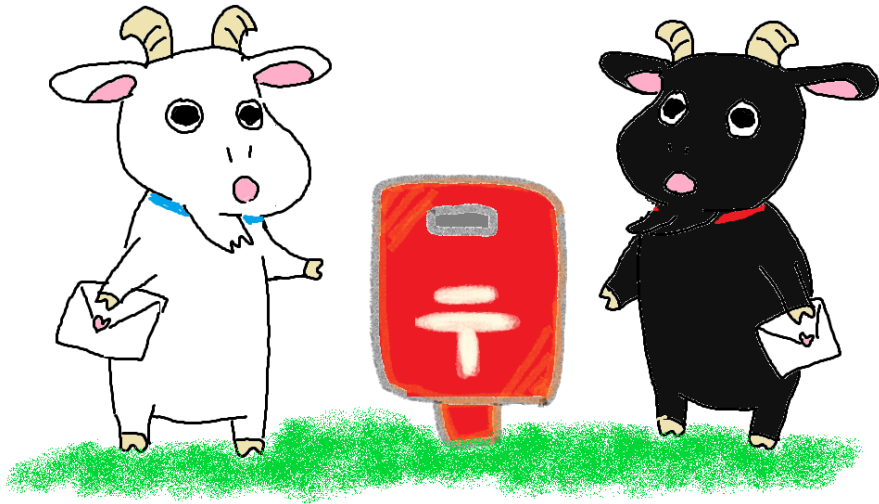
大学近郊の牧場で繁殖検診の際にサンプル採取をさせて頂いたり、学内で飼育している牛やヤギを使って実験をしています。フィールドワークが多く、楽しいです。



Q4. 大変なことはありますか？

仕事では、あまり思いつきません。プライベートでは、育児でしょうか。現在、6ヶ月の息子が元気過ぎて、遊びに付き合うのが大変です。





Q5. 先生の写真がありませんね。のせてください。
探したのですが、農工大のヤギに餌をあげている写真くらいしかありませんでした。ちなみに全頭に名前が付いています。



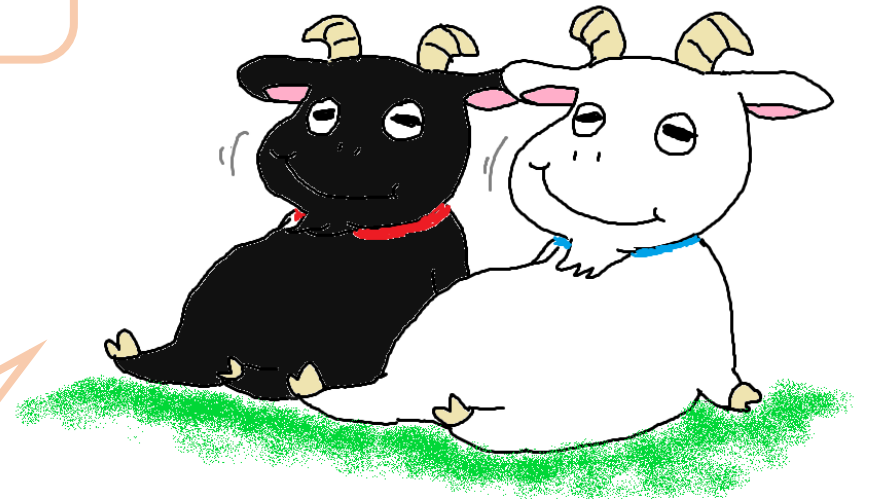
Q6. 牛と山羊どっちが好きですか？

どちらも同じくらい好きですが、ヤギの方がヤンチャで眺めていて面白いです。本当は、猫が好きです。牧場にはたいてい猫がいるので、癒されます。

Q6. このイラストはどうしたんですか？

学生さんが描いてくれました。こんな感じで、いつも学生さんが助けてくれます。ホントに感謝です。

Q7. 最後に一言お願いします
メエメエ





**興味を持った方は、
ぜひ農工大のりんぱん
(獣医臨床繁殖学研究室の略)
にお越しください！**



(加茂前秀夫先生、田中知己先生、研究室メンバーと)